

解 答

1 (D)	2 (D)	3 (A)	4 (A)	5 (C)	6 (C)
7 (D)	8 (A)	9 (D)	10 (A)	11 (C)	12 (C)
13 (A)	14 (B)	15 (A)	16 (C)	17 (B)	18 (B)
19 (A)	20 (C)				

1. 「私はニューヨーク市のビル群は何て高いのだろうと驚いた」
 ▶ how以下は感嘆文 How tall the buildings are in New York City!を節にしたものと考えられる。「私」が驚いたのは過去であるから、『時制の一貫』により空欄に入るbe動詞は過去形である。how節内の主語the buildingsが複数であるので(D)wereが正解。
2. 「現代のサッカーはイングランドで生まれたと言われている。そこでは伝統的に『フットボール』と呼ばれている」
 ▶ is said to do 「～すると言われている」と is said to have + 過去分詞「～したと言われている」の違いに注意。

They say that S+V 「Sは～だと言われている」の受動態

They say that S+Vの形の文は、(1)形式主語itを用いた受動態と(2)that節中の主語を文の主語にした受動態の2通りが可能である。

(1) It is said that S+V (2) S is said to do ~

※ They say that S+V...のVが過去[現在完了]形のときは、S is said to have doneになる。

They say that he studied abroad when he was young.

(彼は若いころ留学したと言われている。)

(1) It is said that he studied abroad when he was young.

(2) He is said to have studied abroad when he was young.

このような形をとる動詞にはsayのほかに次のようなものがある。

believe 「信じる」 expect 「思う」 think 「思う」

report 「報告する」 know 「知る」

□ 非制限用法の関係副詞where

▶ 非制限用法のwhereは「そしてそこで」 (= and there)の意味を表す。

We stopped at a gas station, where we bought a roadmap.

► We stopped at a gas station, and there we bought a roadmap.

(ガソリンスタンドに立ち寄り、そこで道路地図を買った。)

3. 「隣の部屋の音楽が聞こえますか。まるでパーティをしているようだ」

It sounds like [as if] + S+V 「まるでSがVしているように思われる」

It sounds as if he is talking to me in Greek.

(彼はギリシャ語で僕に話しかけているように聞こえる。)

4. 「私たちは毎日同じ食べ物ばかり食べている。それにはもううんざりだ」

be tired of ~ 「～に飽きる」

They are tired of Chinese food.

(彼らは中華料理に飽きている。)

▶ be tired from ~ 「～のせいで疲れている」との混同に注意。

I'm tired of waiting. (待つのはうんざりだ)

I'm tired from waiting. (待ちくたびれている)

5. 「ジョージは全ての書類が締め切りまでに配達されたようにした」

have[get] + O + 過去分詞

「Oを～してもらう〔使役〕 / Oを～される〔被害〕 /(自分が)Oを～し終える〔完了〕」

I had my hair cut at a famous beauty salon.

(私は有名な美容室で髪を切ってもらった。)

I had my bag stolen last night.

(昨夜、私はかばんを盗まれた。)

Have your essay finished by tomorrow!

(作文を明日までに書き上げてしまいなさい！)

- ▶ やってほしいことであれば「髪を切ってもらった」のような意味に、やってほしいことでなければ「かばんを盗まれた」のような意味になる。

- ▶ **偶然や不注意による被害**を表すときは**get**が用いられる。

6. 「興味深いことに、全ての生徒が試験に合格することができた」

- ▶ 文修飾の副詞である(C)が正解。

- ▶ (A)interest 「興味；利息」,(B)interested 「(～に)興味を持っている(in ~)」

- (C)interestingly 「興味深いことに」 (D)interestedly 「興味を持って」

7. 「私たちが家へ向かって歩いている間に雨が降ったなら、きっとびしょ濡れになるよ」

- ▶ whenやifなどに導かれた『時』や『条件』を表す副詞節中では、**未来のことでも現在形で表す**(ただし、whenやifに導かれても名詞節の場合は未来のことは未来形で表す)。よって、(D)が正解。

You can come and see me anytime if you are free tomorrow.

(もし明日暇なら、いつでも私に会いに来てもいいよ。)

- **be sure[certain] to do** 「(主語は)きっと～する/～するのは確実である」

Roland is sure to pass the test; he has been studying for weeks.

(ローランドが試験に合格するのは確実だ。何週間もずっと勉強してきたんだから)

- cf. be sure of doing* 「(主語は)～を確信している」

Roland is sure of being accepted by that school.

(ローランドはあの学校に入学できると確信している。)

8. 「自分の間違いの深刻さを認識して、ジャックは仕事を失うのではないかと心配した」

- ▶ 直後のthe seriousnessは他動詞の目的語と考えられるので、空所に入るのは能動態。空所の前には主語がないので、分詞構文を形成できる(A)Recognizingが正解。

9. 「私は卒業記念パーティが成功することを願っている」

- **be anxious for S+to+V** 「SがVするのを切望する」

She is very anxious for her son to succeed.

(= She is very anxious **that** her son (should) succeed.)

(彼女は息子の成功を切に望んでいる。)

- **be anxious for** ~「～を切望している」

- **be anxious about** ~「～を心配をしている」

10. 「もしよろしければ、お席の準備ができるまでしばらくお待ちください」

- ▶ 空所直後のmindは「～を嫌だと思う、気にする」の意。文意より(A)が適切。

- **If you wouldn't mind**, ... 「もしよろしければ…」

11. 「信じられない！ミキはジェニーが明日の試験に向けての勉強をまだ始めていないと私に告げたのだ」

- ▶ *I don't believe it! ⇌ I can't believe it!* 「信じられない！」

- ▶ (A)trust 「～を信用する」,(B)expect 「～を予期する」,(D)imagine 「～を想像する」

12. 「タカシは昼食のため車を止めたかったのだが、梅池に着くまで運転を続けるよう強く主張した」

- ▶ **drive on** 「運転し続ける」 副詞のonには「継続的に、どんどん」という意味がある。

cf. walk[run] on 「歩き[走り]続ける」, from that day on 「その日からずっと」

Read on to find out how the novel ends.

(小説の結末がどうなるのか読み続けなさい。)

- ▶ (A)drive off 「車で出かける[立ち去る]」 , (B)drive away = drive off
13. 「交通渋滞のせいで家に着くまで1時間以上もかかった」
- ▶ traffic 「交通量」 なので、(A)heavy 「(量が)多い」 やlight 「(量が)少ない」 で表す。
- **heavy traffic** 「多い交通量」 ⇔ **light traffic** 「少ない交通量」
- The traffic is **heavy**[**light**] on the street.
(その通りは交通量が多い[少ない])
14. 「私は仕事を持たない若者が若年犯罪の主要因であるという報告書を読んでいる」
- ▶ a major factor in ~「～の主要因」 answerのあとにつく前置詞はtoであるべきなので、(D)は不可。
- ▶ (A)purpose 「目的」 ,(B)factor 「要因」 ,(C)failure 「失敗」 ,(D)answer 「[…への]返答 [to]」
15. 「あなたはこの資料を読んでおきなさい。市議会が家庭ごみを減らすための新しい制度を導入する予定です」
- ▶ introduce 「～を導入する」 の目的語としては(A)system 「制度」 が最適。
cf. plans to **introduce** a new system of welfare payments
(福祉関連支出の新制度を導入する計画)
- ▶ (B)means 「手段」 ,(C)style 「様式、方法」 ,(D)design 「図案、デザイン；計画」
16. 「アンナの両親は、彼女がなんとかホンダで良い仕事を得ることが出来て喜んだ」
- ▶ aがついていることに着目。可算名詞の「仕事」は(C)job。(B)workを可算名詞で使うと「作品」の意味になってしまう。
- **manage to do** 「なんとか[どうにか]～する」 (= **succeed in doing**)
- After a lot of problems she **managed to** learn to drive a car.
(= After a lot of problems she **succeeded in learning** to drive a car.)
(多くの困難の後、彼女は何とか車の運転ができるようになった。)
- | 『仕事・職業』を表す名詞 | |
|---|------------------------------------|
| □ work 「仕事」 (不可算名詞) | □ job 「(特定の)仕事」 (可算名詞) |
| □ labor 「(骨の折れるつらい)仕事」 | □ business 「商売/事業」 |
| □ task 「(課せられた)仕事」 | □ assignment 「割り当てられた仕事/宿題」 |
| □ occupation 「職業」 | □ profession 「(知的・専門的な)職業」 |
| □ career 「(昇進を目指し、長期または一生続ける)職業/仕事；経歴」 | |
| □ trade 「商売/(主に手を使う熟練を要する)職業」 | |
17. 「ポーラ、あなたがこの1年間英語の勉強に費やした努力を私は評価しているよ」
- ▶ (B)appreciate 「～に感謝する、～を正しく理解する」 ,(C)regard 「～を(…と)見なす(as...)」 ,(D)consider 「～をよく考える、熟慮[検討]する」
18. 「京都をタクシーで廻ったら料金がいくらかかるのか、運転手さんに尋ねてくれませんか」
- ▶ (A)price 「～に値段をつける」 ,(C)cost O₁ O₂ 「O₁(人)にO₂(金額・費用)がかかる」
(D)pay 「～を支払う」
- **charge O₁ (O₂) for A** 「O₁(人)にAの代金(O₂(金額))を請求する」
- They **charged me** (twelve dollars) **for the broken window.**
(私は窓の破損料を(12ドル)請求された。)
- ▶ 人が主語の場合は**charge**、そうでない場合は**cost**が用いられる。
It **cost** [^xcharged] me twelve dollars to have the broken window repaired.
(壊れた窓を直すのに12ドルかかった。)
19. 「ナオミは新しい鍵を使って施錠されたドアを開けようとしたが、無駄だった。鍵は回らなかった」
- ▶ no good 「無駄である、役に立たない」

▶ (B)correct 「正しい、正確な」,(C)chance 「可能性、機会」,(D)possibility 「可能性」

□ **It is no use[good] doing** 「～してもむだである」

▶ 真主語が *doing*以下の形式主語構文。goodはuseより口語的。

It is no use[good] trying to persuade her.

(彼女を説得しようとしても無駄である。)

20. 「私は祖父の古いトヨタの四輪駆動車を運転したかったのだが、まったく動こうとしなかった」

▶ (C)justには**否定語の前に置かれて、否定語を強調する**用法がある〔全否定〕。just would not start 「とてもじゃないが、動こうとしなかった」の意。

I **just can't** recall what my father said at that time.

(あのときに父が言ったことをどうしても思い出せない。)

Sadly, they **just can't** be trusted.

(残念なことに、彼らはまったく信用できない。)

⇒ また、justには**否定語の後に置かれて、部分否定を表す**用法がある。

We want to be known as a good food company, **not just** a good soup company.

(我々はよいスープ会社というだけでなく、よい食品会社として知られるようになりたい)

I **don't just** like her. I love her.

(ただ彼女のことが好きなだけではない。彼女にまったく夢中だ)

▶ (A)barely 「かろうじて」,(B)only 「唯一の」,(D)hardly 「ほとんど～ない」